

プレスリリース

## 大使館の美術展 IV —文化交流随想— ペルー共和国大使館

Exhibitions of Embassies Part IV: Embassy of the Republic of Peru in Japan  
— Pathways to Cultural Exchange with the World —

東京富士美術館は、これまで世界 34 カ国地域の美術館や文化機関との友好関係を築きながら、各国の優れた芸術を新しい視点から紹介する海外文化交流特別展を開催してまいりました。また、51 回にわたる海外文化交流特別展の歴史は、そのまま当館の文化交流の足跡でもあります。

「大使館の美術展」第 4 回目となる今回は、「駐日ペルー共和国大使館」です。同大使館の全面的な協力のもと、同大使館の全面的な協力のもと、ペルー大使館所蔵の銀細工を中心とした美術展を開催いたします。

ペルーの銀細工はコロンブス以前から発展し、植民地時代に精緻で美しい作品が数多く生み出されました。職人たちは新技術を取り入れ、教会や大聖堂を飾る豪華な芸術品を制作。現代でも世代を超えて技術が受け継がれ、ペルー文化の象徴として国際的に評価されています。

本展では、ペルーの自然が育んだ文化も紹介いたします。ぜひご来場いただき、ペルー文化の魅力をご堪能ください。



◆開催概要

展覧会名： 大使館の美術展 IV —文化交流随想—  
ペルー共和国大使館

Exhibitions of Embassies Part IV: Embassy of the Republic of Peru in Japan  
- Pathways to Cultural Exchange with the World -

※同時開催

生誕 135 年 愛しのマン・レイ展（本館／企画展示室）

没後 40 年 アンドレ・ケルテス展～前衛写真の萌芽（新館／常設展示室 第 6 室）

西洋絵画 ルネサンスから 20 世紀まで（新館／常設展示室 第 1-5 室）

会 場： 東京富士美術館(〒192-0016 東京都八王子市谷野町 492-1)  
新館／常設展示室 第 7 室、本館／ガーデンカフェ・モネ  
TEL.042-691-4511

会 期： 2025(令和 7)年 1 月 11 日(土)～3 月 23 日(日)

休館日： 毎週月曜日、1 月 14 日(火)、2 月 25 日(火)

※1 月 13 日(月祝)、2 月 24 日(月祝)は開館

開館時間： 10:00～17:00(16:30 受付終了)

入場料金： 大人 1,500(1,200)円、大高生 900(800)円、  
中小生 500(400)円、未就学児無料

※全ての展示室をご覧になれます

※（ ）内は各種割引料金 [20 名以上の団体、65 歳以上  
の方、当館公式 SNS 登録者ほか]

※土曜日は中小生無料

※障がい児者、付添者 1 名は通常料金の半額 [証明書を  
ご提示ください]

主 催： 東京富士美術館、駐日ペルー共和国大使館

問い合わせ先： TEL.042-691-4511 FAX.042-691-4623  
e-mail: toiwase@fujibi.or.jp

◆出品作品

主な作品(8点)をご紹介します。



ランタン



聖油入れ



香炉 - 七面鳥



燭台



香炉 - 柘榴



額装(小さな天使)



額装(マルコ・グラナダ)



額装(格子)

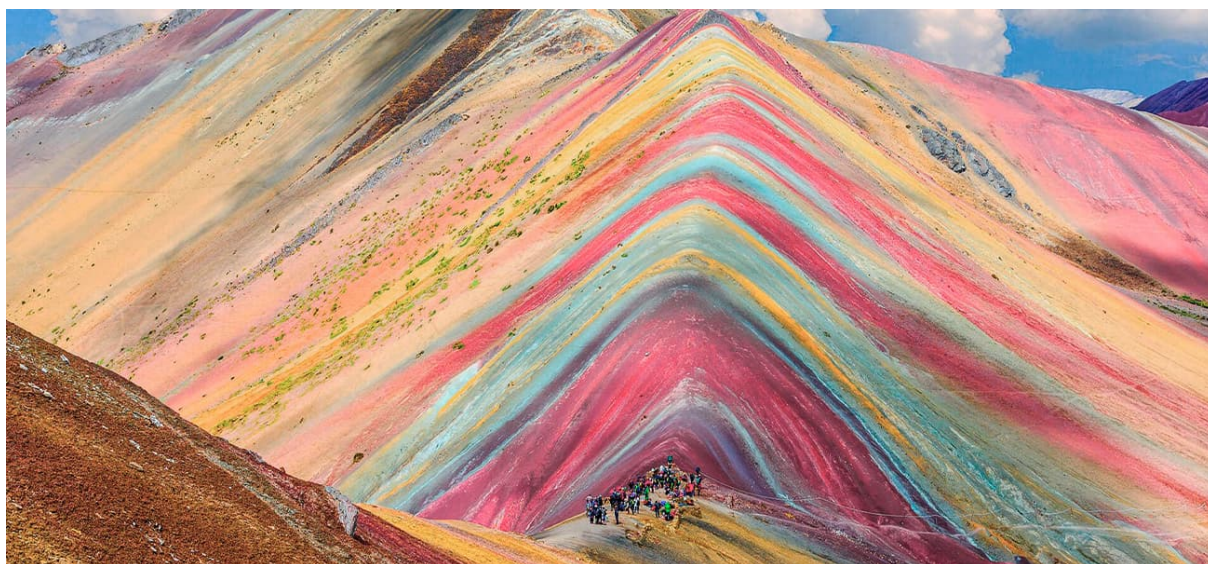
◆会期中のイベント(予定) ※詳細につきましては今後ホームページ  
[www.fujibi.or.jp](http://www.fujibi.or.jp)にてお知らせします。



※マチュ・ピチュ(世界文化遺産)



※ナスカの地上絵(世界文化遺産)



※ビニクンカ山(レインボーマウンテン)



このたびは、この素晴らしい東京富士美術館における我が国に関する貴重な展覧会に、ようこそお越しくださいました。ペルー政府ならびにペルー国民を代表し、心より歓迎申し上げます。

ペルーと日本は、150年以上も前に外交関係を樹立し、我が国はラテンアメリカで初めて日本に信頼を置く国となりました。この実り多き関係を通じて、両国は、経済的、文化的、そして社会的な結びつきをより強固なものにしてきました。今日、日本には約5万人のペルー人が在住し、両国の絆をさ

らに豊かにしています。

ペルーは、千年の歴史を有する国であり、ナスカ、モチカ、チムー、インカといった偉大な文明の発祥地であり、その優れた建築、芸術、技術は、今なお人々を驚かせています。ペルーの文化、自然、食の豊かさは、世界的にも認められています。アンデス山脈の堂々たる山々から太平洋の海岸、アマゾンのジャングルまで、ペルーには様々な風景があり、唯一無二の体験が得られます。

この展覧会では、ペルーの国、人々、伝統、そしてペルーの持つ多様な魅力について、より深くご理解いただけることでしょうか。先祖代々受け継がれてきたものを大切に守りながらも、未来に向かって突き進む国、ペルーの魅力をどうぞお楽しみください。

ペルーへようこそ！

駐日ペルー共和国特命全権大使

ロベルト・セミナリオ閣下

## ペルー共和国とは



ペルー共和国(República del Perú)は、南アメリカの西部に位置する多様性豊かな国です。北はエクアドルとコロンビア、東はブラジル、南東はボリビア、南はチリと国境を接し、西側は太平洋に面しています。国土はアンデス山脈、アマゾン熱帯雨林、そして乾燥した沿岸地域に分かれ、多様な自然環境が広がります。

首都はリマで、同国の政治、経済、文化の中心地です。人口は約3,300万人(2024年時点)で、多民族

国家として、先住民、ヨーロッパ系、中東系、アフリカ系、アジア系の人々が共存しています。公式言語はスペイン語ですが、ケチュア語やアイマラ語も広く話されています。

ペルーは古代文明の遺産で知られており、特にインカ帝国の中心地として有名です。マチュ・ピチュやクスコなどの遺跡は世界的な観光地で、ユネスコ世界遺産にも登録されています。また、ナスカの地上絵やチャン・チャン遺跡など、他の考古学的遺産も数多く存在します。

経済は農業、鉱業、観光業が主要産業です。特に銅、金、銀の生産量が世界でもトップクラスであり、輸出の大部分を占めています。また、ペルー料理は「セビチェ」や「ロモ・サルタード」など、豊かな味わいで国際的にも評価されています。

ペルーはその歴史的遺産と自然の多様性から、訪れる人々を魅了する国といえましょう。

## 東京富士美術館について

当館は 1983 年 11 月、東京・八王子市に設立された総合的な美術館です。コレクションは日本・東洋西洋の各国、各時代の絵画・版画・写真・彫刻・陶磁・漆工・武具・刀剣・メダルなど様々なジャンルの作品約 30,000 点で形成されています。

「世界を語る美術館」を“永遠の指針”としてこれまで各国地域の優れた文化を新しい視点から紹介する海外文化交流特別展を国内外で活発に開催し、1990 年には日本の外務省より「外務大臣表彰」を受賞。2008 年には新館がオープンし、常設展示室ではルネサンスからバロック・ロココ・新古典主義・ロマン主義を経て、印象派・現代にまで至る西洋絵画 500 年の油彩画コレクションが一望できるようになっています。



問い合わせ先：TEL.042-691-4511 FAX.042-691-4623  
e-mail: [toiawase@fujibi.or.jp](mailto:toiawase@fujibi.or.jp)